

エコアクション21 環境経営レポート 令和5年度

対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日



株式会社ジャパンメディカルサポートシステムズ

発行日：令和6年 8月1日

目次

I	組織の概要	1
II	対象範囲	5
III	環境経営方針	6
IV	環境経営目標および月別実績	7
V	環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
VI	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	9
VII	代表者による全体評価と見直し・指示	11

I 組織の概要

株式会社 ジャパンメディカルサポートシステムズ
代表取締役 北村 修

【所在地、連絡先】

- ・本社
〒515-2109
三重県松阪市小野江町888番地(本社・工場)
電 話 0598-56-7780
F A X 0598-56-7720
E-mail recycle@jmsscompany.co.jp
- ・北陸支店
〒921-8815
石川県野々市市本町5丁目11番17号 MKKビル405
電 話 076-246-7780
F A X 076-246-7760

【環境管理責任者】

工場長 川北 貴之

【事業内容】

- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・特別管理産業廃棄物収集運搬業 *
- ・産業廃棄物中間処理業

* 実績は0tなので対象範囲には含まれない。

【設立年月日】

平成19年9月7日

【資本金】

500万円

【事業の規模】 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

- ・中間処理量 6,769 t
- ・収集運搬量
 - 産業廃棄物 17,036 t (産業廃棄物)
 - 特別管理産業廃棄物 0 t (特別管理産業廃棄物)
- ・売上高 66,561 万円 令和4年8月1日から令和5年7月31日
- ・従業員数(役員含む)
 - 令和6年3月31日時点 16 人 本社
 - 3 人 北陸支店
- ・面積
 - 本社:敷地面積 5344.56 m²
 - 本社:床面積 677.28 m²
 - 北陸支店:床面積 27.3 m²

【許可の内容】

●産業廃棄物中間処理業

許 可 番 号 三重県 第 02426138265 号

許 可 年 月 日 令和6年6月10日

許 可 期 限 令和11年6月 9日

施 設 の 種 類	処 理 能 力(二軸破碎機)	処 理 能 力(一軸破碎機)
破 碎 施 設	廃プラスチック類 23.18t/日 (8h)	廃プラスチック類 52.90t/日 (8h)
	ゴムくず 34.44t/日 (8h)	ゴムくず 78.59t/日 (8h)
	金属くず 2.76t/日 (8h)	金属くず 5.97t/日 (8h)
圧 縮 施 設	金属くず 2.0t/日 (8h)	

●産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業

令和6年3月31日現在

種類	行政区	品目 (産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の種類)													許可番号	許可年月日	許可の有効期限
		廃プラスチック類	紙くず	ゴムくず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず等	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	がれき類	感染性産業廃棄物		
産業廃棄物収集運搬業	三重県	C	D	D	D	D	C	A	C	C	C	D	D	B	第02406138265号	令和4年11月7日	令和9年11月6日
産業廃棄物収集運搬業	愛知県	C	D	D	D	D	C	A	C	C	C	D	D	B	第02300138265号	令和5年4月14日	令和10年4月13日
産業廃棄物収集運搬業	岐阜県	C	D	D	D	D	C	C	D	D	D	D	D	D	第02100138265号	令和4年6月7日	令和9年6月6日
産業廃棄物収集運搬業	群馬県	C	D	D	D	D	C	C						D	第01000138265号	令和5年7月23日	令和10年7月22日
産業廃棄物収集運搬業	京都府	C	D	D	D	D	C	C							第02600138265号	令和6年6月28日	令和11年4月20日
産業廃棄物収集運搬業	神奈川県	C	D	D	D	D	C	C	E	E				B	第01400138265号	令和2年10月28日	令和7年7月20日
産業廃棄物収集運搬業	大分県	C	D	D	D	D	C	A		D				D	第04408138265号	令和3年12月8日	令和8年12月7日
産業廃棄物収集運搬業	石川県	C	D	D	D	D	C	C						D	第01704138265号	令和6年5月17日	令和11年5月8日
産業廃棄物収集運搬業	長野県	D	D	D	D	D	D	D						D	第2009138265号	令和3年8月18日	令和8年8月17日
産業廃棄物収集運搬業	岡山県	D	D	D	D	D	D	D						D	第03300138265号	令和3年5月12日	令和8年4月13日
産業廃棄物収集運搬業	広島県	D	D	D	D	D	D	D						D	第03400138265号	令和3年1月14日	令和8年1月13日
産業廃棄物収集運搬業	福井県	C	D	D	D	D	C	C						C	第01801138265号	令和5年7月19日	令和10年7月18日
産業廃棄物収集運搬業	兵庫県	B	D	D	D	D	D	B						B	第02805138265号	令和4年5月21日	令和9年5月20日
産業廃棄物収集運搬業	奈良県	C	D	D	D	D	C	C							第02900138265号	令和3年11月16日	令和8年11月15日
産業廃棄物収集運搬業	富山県	C	D	D	D	D	C	C						D	第01601138265号	令和6年4月12日	令和11年4月1日
産業廃棄物収集運搬業	東京都	D	D	D	D	D	D	D						D	第13-00-138265号	令和2年8月7日	令和7年8月6日
産業廃棄物収集運搬業	千葉県	A	D	D	D	D	C	A	D	D	D	D	D	B	第01200138265号	令和6年6月12日	令和11年6月11日
産業廃棄物収集運搬業	静岡県	C	D		D	D	C	C						D	第02201138265号	令和3年1月11日	令和8年1月10日
産業廃棄物収集運搬業	滋賀県	C	D	D	D	D	C	C						D	第02501138265号	令和6年4月10日	令和6年4月9日
産業廃棄物収集運搬業	新潟県	D	D	D	D	D	D	D	D	D				D	第01509138265号	令和4年9月12日	令和9年7月4日
産業廃棄物収集運搬業	埼玉県	C	D	D	D	D	C	B	D	D				D	第0100138265号	令和6年7月5日	令和9年7月26日
産業廃棄物収集運搬業	大阪府	C	D	D	D	D	C	C	D	D				B	第02700138265号	令和5年1月10日	令和10年1月9日
産業廃棄物収集運搬業	山梨県	C	D	D	D	D	C	A	D	D				B	第01900138265号	令和5年9月3日	令和10年9月2日
特管産業廃棄物収集運搬業	三重県													D	第02456138265号	令和4年10月15日	令和9年10月14日

※ ガラスくず等とは、「ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築、又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶器くず」をいう。

※ A: 石綿・水銀含む B: 石綿含む C: 水銀含む D: 石綿・水銀除く
E: 石綿除く・水銀産廃含む・水銀ばいじん除く

【事業計画の概要】

平成19年9月、株式会社ジャパンメディカルサポートシステムズを設立し、中部地方を中心に産業廃棄物収集運搬事業を営み、さらに、平成21年6月産業廃棄物中間処理業の許可を受け、現在に至っている。

関東、北陸、中国地方などの企業からの受注が増え範囲拡大し、取引量も増加してきたが、リサイクル率向上を目指し、より効率的な業務体制を確立する。

【受託した産業廃棄物の処理量】

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i) 収集運搬		廃プラスチック類		10,597
		廃油		64
		木くず		783
		ガラス・陶磁器くず		1,664
		石膏ボード		1,797
		がれき類		169
		混合廃棄物		1,956
		汚泥		3
		繊維くず		0
		感染性産廃		0
収集運搬量合計				17,033
(ii) 中間処理		廃プラスチック類	破砕	6,769
うち 再資源化 等	廃プラスチック類	破砕	5,911	
	再資源化等量小計			5,911
中間処理合計				6,769
(iii) 最終処分				
最終処分量合計				
(iv) 中間処理 後の産業廃棄物	最終処分	廃プラスチック類	安定型最終処分場(委託)	308
	再資源化 等	廃プラスチック類	燃料として再利用(売却)	4,453
		廃プラスチック類	燃料として再利用	1,457
		再資源化等量小計		
中間処理後処分量合計				6,218

(i) 収集運搬、(ii) 中間処理の処理量(t)には、受け入れ時、m3とtで受け入れた産業廃棄物を(t)で記入している。

(iv) 中間処理後の産業廃棄物(t)は質量測定した値で記入している。

【施設等の状況】

令和6年3月31日現在

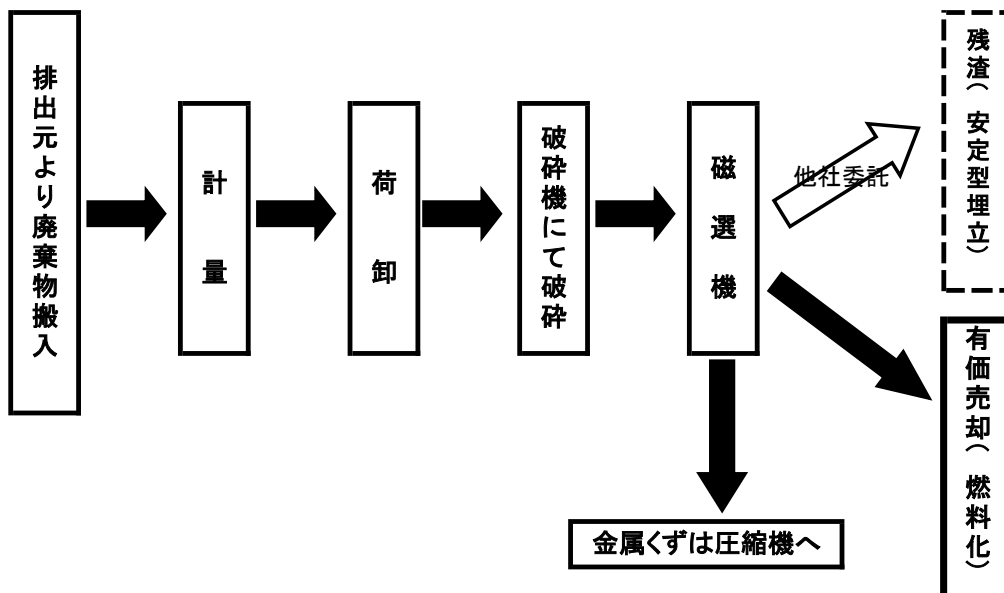
全 社 総務・工場 運送部門

作 業 用 車 両	建設用重機 0.25t、0.4t	2台	2台	-
	フォークリフト 2.5 t	2台	2台	-
収集運搬車両	フルトレーラ車 10t	3台	-	3台(2)
	セミトレーラ車 10t	0台	-	0台
	10t アームロール式コンテナ車	8台	1台	7台(1)
	4t アームロール式コンテナ車	3台	3台	-
営 業 車 両	普通乗用車(ハイブリッド車)	5台	5台	0台

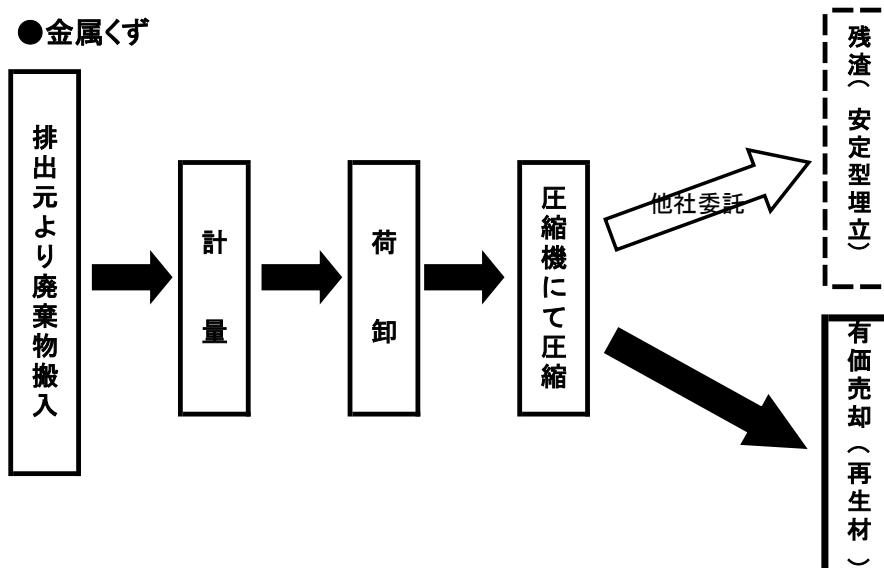
* ()内は北陸支店による。

【中間処理工程】

●廃プラスチック類・ゴムくず

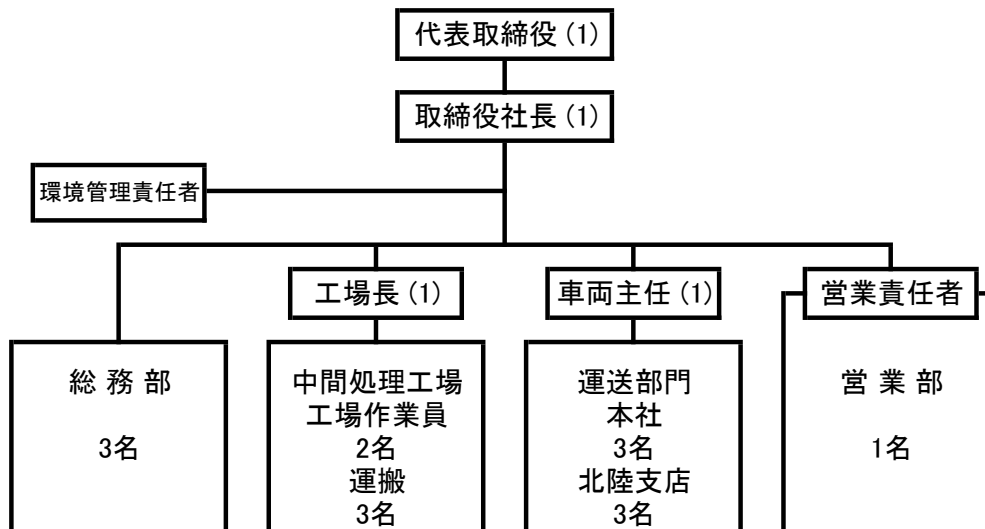


●金属くず



【組織図】

令和6年3月31日現在



【役割分担】

- | | |
|------------|--|
| 代表取締役 | <ul style="list-style-type: none"> ●環境方針の決定 ●環境活動の見直し |
| 取締役社長 | <ul style="list-style-type: none"> ●EA21運用に必要な資源の確保 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ●環境活動レポートの作成 ●環境活動の状況把握、記録、管理 ●環境関連法規等の遵守状況のチェック ●各部署の環境活動管理リーダーからのデーターを集計。 |
| 環境活動管理リーダー | <ul style="list-style-type: none"> ●各部門の環境管理活動の推進責任者 |
| 工場長 | <ul style="list-style-type: none"> ●中間処理工場、及び総務・営業部門における環境活動管理リーダー ●環境関連法の遵守評価 |
| 車両部長 | <ul style="list-style-type: none"> ●運送部門における環境活動管理リーダー |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ●環境方針、環境目標を理解し、環境活動計画を実行 |

Ⅱ 対象範囲

【対象組織】

本社：三重県松阪市小野江町888番地

北陸支店：石川県野々市市本町5丁目11番17号 MKKビル405

【対象活動】

産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業を活動対象とする。

【環境活動レポートの対象期間】

対象期間は令和5年4月1日～令和6年3月31日とする。

Ⅲ環境経営方針

環境経営方針

＜環境理念＞

(株)ジャパンメディカルサポートシステムズは、自然豊かな山々と資源豊富な伊勢湾に囲まれた地域の環境を守りつつ、産業廃棄物収集運搬業ならびに中間処理業においてリサイクル率の向上と環境負荷の低減に従事し持続的改善を行い地域・社会に貢献します。

＜行動指針＞

1. 無駄のない電力消費を心がけ二酸化炭素排出の削減に努めます。
2. 運搬車両ならびに営業車両の燃料消費による二酸化炭素削減に努めます。
3. 徹底した節水を心がけ排水量の削減に努めます。
4. 事務用品や日用品などグリーン購入を推進します。
5. 産業廃棄物収集運搬業ならびに中間処理業においてリサイクル率の向上に努めます。
6. 事業活動に適用される環境関連法規等を遵守いたします。
7. 定期的に工場周辺の清掃活動を実施し地域貢献に努めます。
8. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日：平成 29年 3月 25日

改定日：令和 3年 4月 1日

株式会社 ジャパンメディカルサポートシステムズ

代 表 取 締 役 北 村 修

Ⅳ 環境目標及び月別実績（令和5年4月～令和6年3月）

※削減の場合：達成率＝（目標－実績－目標）／目標

環境目標	単位	H28年度実績※	R3年実績	実 績													達成率 %	目標値		
			R3年4月～ R4年3月	令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月	計		R5年度 (2%削減)	R6年度 (3%削減)	R7年度
1. 二酸化炭素排出 ●量の削減	kg-CO ₂	1,202,244	1,641,986	110,588	98,836	111,465	110,793	104,605	113,030	114,799	116,443	116,983	98,514	109,050	122,544	1,327,650	117.5%	1,609,146	1,592,726	R4に対して (4%削減)
①電気使用量 の あ削減	kWh	115,296	102,907	8,442	7,835	9,222	9,024	7,985	8,225	9,275	7,609	7,348	10,532	11,582	11,473	108,552	92.4%	100,849	99,820	R4に対して (4%削減)
②軽油使用量 のあ削減	L	432,512	608,266	40,436	35,853	40,609	40,303	38,299	41,403	41,912	43,014	43,014	35,658	39,256	44,677	484,434	118.7%	596,101	590,018	R4に対して (4%削減)
③ガソリン使用 ●量の削減	L	4,804	9,757	584	799	642	730	495	577	597	324	598	452	756	458	7,012	126.7%	9,562	9,464	R4に対して (4%削減)
2. 一般廃棄物排出 ●量の削減	kg	112.0	230	15.5	15.0	13.5	10.7	10.3	17.9	7.5	10.1	12.4	14.9	10.0	11.9	149.7	133.6%	225	223	R4に対して (4%削減)
3. 水使用量の削減	m ³	244	308		25		27		26		24		25		19	146	151.6%	302	299	R4に対して (4%削減)
4. グリーン購入の推進	品目数	16	29	7	2	0	0	4	0	5	3	5	5	1	3	35	112.5%	40	40 (維持)	40 (維持)
5. 受託した産業廃棄物 ○のリサイクル率向上	%	83.4	90.0%	91%	94%	95%	93%	92%	91%	88%	89%	91%	91%	84%	88%	91%	100.5%	91.0%	93.0%	95.0%
6. 環境保全取組実施	回数	0	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	100.0%	12	12	12

※全社評価として軽油・ガソリンの使用が大幅に増え、二酸化炭素排出量にも達成が出来なかった。遠方の収集運搬が多く増えたことによる。
しかし、車両の日常点検は実施していた。

※グリーン購入法適合商品の購入を対象とする。

※当社はPRTR法該当化学物質は使用していないため、目標設定していない。

※電力の二酸化炭素排出係数(調整後)は、2019年度の中部電力公表値：0.426kg-CO₂/kWhを用いた。

※受託した産業廃棄物のリサイクル率は、有価販売量/搬入廃棄物量とする。

※R5年度目標はR3年度の2%削減。

発行年月日：令和4年6月30日

訂正年月日：令和5年3月31日

承認：代表取締役 北村 修

V 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

事務所・営業(環境活動管理リーダー: 川北工場長)

令和5年4月1日～令和6年3月31日

環境目標 (R3年に対して 2%削減)	取り組み計画		評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量 の削減	-	○	仕事量の低下。車両台数の削減等。配車ルート効率化を改善した。約17%の削減ができた。
電気使用量の削減	空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃) クールビズ運動とウォームビズ運動 節電意識向上のためにポップ掲示	○ ◎ ◎	日頃から使用していない電気はこまめに消すようにしている。仕事量の低下も考えられるが、事務所に関しては常に実施している。
ガソリン使用量の削減	効率的なルートでの営業活動 急加速、急停止の防止 ハイブリッド車の利用を推進 アイドリングストップ	○ ○ ◎ ◎	この1年で営業活動をさらに実施。ハイブリッド車を使用して効率的なルートで活動。営業活動を一時停止した。26%削減が出来た。
一般廃棄物排出量 の削減	ごみの分別の徹底 コピー用紙の裏紙利用・両面印刷	◎ ◎	ゴミの分別をし使用できるものは再利用を推進してゴミの低減に努めた。33%削減に成功。
水使用量の削減	出しっ放しでの水道使用禁止 節水意識向上のためにポップ掲示	◎ ○	節水をこころがけ出しっぱなしにならないように対策等実施。51%削減に成功。
グリーン購入 の推進	グリーン購入法適合商品を積極的に選択	○	グリーン購入法適合商品を確認してなるべく購入している。目標値に対しては達成できていないが常に心掛けている。

工場部門(環境活動管理リーダー: 川北工場長)

環境目標	取り組み計画		評価結果
電気使用量の削減	破砕機の未使用時のスイッチオフ 作業の効率化を図り電気使用時間を短縮する 節電意識向上のためにポップ掲示	○ ○ ◎	使用していない機械は停止している。既存設備の老朽化に伴い処理時間が増加。対策は日頃からしているが、使用料が増加。昨年に比べ8%上昇。
軽油使用量の削減	重機の未使用時のアイドリングストップ フォークリフト車の急発進・急停車防止	◎ ◎	こまめに電源OFFを実施。(アイドリングストップ)
受託した産業廃棄物のリサイクル率向上	受入内容に見合った最適な分別方法の調整	○	営業活動から受入物を見直し、リサイクル率の向上を推進。

運搬部門(環境活動管理リーダー: 土記主任)

環境目標	取り組み計画		評価結果
軽油使用量の削減	効率的なルートでの収集運搬業務 急加速、急停止の防止 アイドリングストップ	○ ○ ○	効率的なルートでの収集運搬をしていく為に、見直ししている。昨年に比べ18%削減出来た。
水使用量の削減	節水意識向上のためにポップ掲示 洗車時の節水(水の出しっ放し禁止)	○ ○	ストップ機能付きの節水ノズルの使用や節水を呼びかけている。51%削減出来た。

会社全体(環境管理責任者: 川北工場長)

環境目標	取り組み計画		評価結果
環境保全取組実施	工場周辺の清掃・草刈を定期的に実施	◎	毎月1回実施をし、常に美化清掃している。

VI 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無

【適用される法規制等】

令和6年3月31日

環境影響	区分			法規等の名称	法規等要求事項		遵守評価	対象
	法律	県市条例	その他				川北	
廃棄物	○			廃棄物の処理 及び清掃に関する法律	産業廃棄物 収集運搬業	許可証有効期限の確認	○	産業廃棄物 収集運搬業
						収集運搬車への表示	○	
						収集運搬車の書面の携帯	○	
						事業者との契約書の確認	○	
						その他収集運搬の基準	○	
					特別管理産 業廃棄物収 集運搬業	許可証有効期限の確認	○	特別管理産 業廃棄物収 集運搬業
						収集運搬車への表示	-	
						収集運搬車の書面の携帯	-	
						事業者との契約書の確認	-	
						その他収集運搬の基準	-	
					産業廃棄物 中間処理業	許可証有効期限の確認	○	産業廃棄物 中間処理業
						事業者との契約書の確認	○	
						処理責任者配置確認	○	
						その他処理の基準	○	
					保管の基準	飛散、流出、地下浸透防止	○	産業廃棄物 置場
						周囲に囲い	○	
						60cm×60cm以上の看板	○	
					看板記載事 項	廃棄物の種類	○	
						管理者の名称連絡先	○	
	保管可能量	○						
	運搬・処分委託	委託業者の資格	○					
委託契約書	種類、数量、性状	○						
	有効期間、金額	○						
	運搬と処分の関係	○						
	最終処分の方法と能力	○						
	許可証の写し	○						
廃棄物管理 表（マニ フェスト伝票）	所定の様式	○						
	運搬終了時の写しの確認	○						
	処分終了時の写しの確認	○						
	写し未返却時の報告	-						
	管理用の保管(5年間)	○						
	発行記録の報告	○						
焼却の禁止	野焼きの禁止	○						
	○		三重県条例	委託先の現地確認	○	委託先		
○			家電リサイクル法	指定家電の適法処理(事務所内の空調古 び)	-	事務所		
○			小型家電リサイクル法	指定小型家電の適法処理	-			
排水	○		浄化槽法	保守点検(1回/3ヶ月)及び清掃(1回/年)	○	浄化槽		
				水質検査の実施(1回/年)	○			
				浄化槽規模、設置場所等の提出	○			
			○		地域住民(水利組合など)との協定	○	周辺地域	
	○			水質汚濁防止法	異常発生の際は県へ報告	○	油水分離槽	
騒音	○			騒音規制法	規制基準の遵守	○	破碎機	
排気	○			自動車Nox・PM法	排気ガス規制	○	収集運搬	
消防	○		消防法	適切な消火器の配置	○	工場・事務 所		
				6ヶ月に1回の消防設備点検	○			
事故防止	○			労働安全衛生規則	重機の月次、年次点検の実施	○	重機	
地球温暖化	○			フロンガス排出抑制法	定期点検・漏えいした場合の報告	○		

【環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価】

環境関連法規等の遵守状況のチェック表で、遵守状況を確認した結果、問題は認められなかった。

【違反・訴訟等の有無】

過去3年間、環境関連法規・条例等に関する違反、訴訟はない。

【外部からの苦情などの受付結果】

過去3年間環境に関する苦情はない。

Ⅶ 代表者による全体評価と見直し・指示

令和6年3月31日

インプット

見直し項目		見直し報告事項
1	環境目標の達成状況	二酸化炭素排出量の削減目標は達成出来た。収集運搬の車両の減少と収集運搬の量が減少したと考える。 次年度も取り組みに関しては、継続していく。
2	環境活動計画の実施・運用状況	燃料・電気削減の取り組みに対して効率的ルート業務やこまめに電気の電源OFFをしたり、クールビズを日頃から推奨している。その取り組みは適切に実施できていた。
3	環境関連法規の遵守状況	遵守状況チェック表にて環境関連法規等の遵守が確認できた。
4	外部からの環境に関する苦情や要望	定期的に清掃活動などを行い、周辺地域での環境の配慮に心掛けており、これまでのところ苦情や要望は頂いていない。

アウトプット

環境方針 変更の必要性	なし
環境活動計画 変更の必要性	なし
環境目標 変更の必要性	なし
実施体制 変更の必要性	なし
EA21システム全般についての総合的な指示事項 毎年3月に環境リーダーと意見交換する場を設け、来年度の環境目標を決めエコ活動に対して積極的にしていくこと。今年度の目標はほぼ達成できた取り組み内容を継続していくこと。また環境リーダーは従業員と取り決めを考え実行していく。	